

Profile

木場 大輔 KIBADAISUKE

胡弓演奏家、作曲家

淡路島出身。

1994～95年、甲陽音楽学院にてジャズの音楽理論とピアノの実技を学ぶ。

1998年より、胡弓を始める。

2004年より、名古屋系古典胡弓を原一男師に師事。

2006年より、低音絃を追加したオリジナル四絃胡弓を開発。

2009年、映画「カムイ外伝」（崔洋一監督／松山ケンイチ・小雪 主演）にて演奏と出演。

2011年、NHK BS時代劇「新撰組血風録」サントラに参加。

NHK Eテレ「にっぽんの芸能 花鳥風月堂」に出演。

胡弓とピアノのユニット「KODACHI ～木立～」のCD「Japan」を発表。

2013年、京都にて人形舞のホリ・ヒロシ氏と共演。自作曲「桜花幻耀」など、高い評価を受ける。

和楽器ユニット「おとぎ」のCD「音戯紀行」を発表。全楽曲の編曲または作曲を手掛ける。



江戸時代から連綿と受け継がれる胡弓楽を尊重しつつも、従来の三味線や箏の持ち替え楽器としての在り方を超え、独奏楽器としての胡弓の可能性を追求している。地唄舞の舞地や現代邦楽の演奏にも定評がある。

門弟の会「絹擦会（きぬずれかい）」を東京・横浜・大阪・高知にて主宰。

<短縮版>

淡路島出身。

1994～95年、甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。

1998年より、胡弓を始める。

2004年より、古典胡弓を原一男師に師事。

2009年、映画「カムイ外伝」（松山ケンイチ 主演）にて演奏と出演。

2011年、NHK Eテレ「にっぽんの芸能 花鳥風月堂」に出演。

江戸時代より伝わる胡弓楽を尊重しつつも、低音絃を加えた四絃胡弓を開発など、胡弓の可能性を追求している。

作曲家として和楽器ユニットに楽曲提供も行う。

門弟の会「絹擦会」を東京・横浜・大阪・高知にて主宰。

<おもな活動ユニットのご紹介>

■ KODACHI ～木立～

木場大輔（胡弓） 足立知謙（ピアノ、プログラミング）

日本の伝統楽器、胡弓をフィーチャーしたユニット。
木場大輔（胡弓）と足立知謙（Piano & Programming）
により、2009年4月結成。

江戸時代から連綿と伝わる古典の粋と、ピアノの
美しい余韻、エレクトロニカの音色が融合し、
洗練された都会的サウンドの中に、どこか懐かしさや、日本の原風景を感じさせる。
2011年1月、ファーストアルバム「Japan」を発表。
NHK Eテレ「にっぽんの芸能 花鳥風月堂」への出演など、その活動に各界から
熱い視線が注がれている。

【KODACHI ～木立～ facebook ページ】 <https://www.facebook.com/kodachiip>



■ 生糸 ki-ito

木場大輔（胡弓） 伊藤麻衣子（箏、二十五絃箏）

弓で奏でる和楽器、胡弓と、雅な音色の箏。
江戸時代からともに合奏されてきましたが、
今日では胡弓の演奏が聴ける機会は稀となりました。
胡弓の伝統に新たな息吹を吹き込む木場大輔と、
伝統的な箏から現代の25絃箏による幅広い表現まで
対応する伊藤麻衣子によるデュオ『生糸 ki-ito』が、胡弓と箏の可能性を拓きます。
古典曲から現代曲、オリジナル、お馴染みの曲など、本格的な演奏から親しみやす
いものまで、高度なテクニックと柔軟な感性でアプローチします。

【生糸 facebook ページ】 <https://www.facebook.com/kiito.kotokokyu>



■ 和楽器ユニット おとぎ

川村 旭芳（筑前琵琶・歌）
木場 大輔（胡弓／作曲・編曲）
折本 慶太（箏・十七絃・三味線）
安田 知博（尺八・笛）

筑前琵琶・胡弓・箏・尺八による若手邦楽ユニット。
優美な音色で様々な情感に訴える和楽器の魅力を、現代人にも親しみやすいアレン
ジで表現するスタイルは、年齢を問わず幅広く支持されている。
内子座、八千代座、弁天座など、全国の芝居小屋での公演のほか、大阪・京都でも「風
雅草紙コンサート」を2011年より毎年開催。
CDアルバム『音戯箱』『音戯箱Ⅱ』『音戯紀行』を発表。

【おとぎ公式サイト】 <http://otogi.iza-yoi.net>

